1	山台高等専	門学校	開講年度 令和03年度(2021年度)	授業科目	総合セミナー		
科目基础		11 11 12) XI COUNTY XI FEBURY	2021 (1)2)	JANIA I			
科目番号		0018		科目区分	専門 / 必修	·		
授業形態	*	実験・3	· 実習	単位の種別と単位数	履修単位:	2		
開設学科	ļ	機械・二		対象学年	4			
開設期		通年		週時間数	2			
教科書/教		各指導	教員から提示されたもの					
担当教員		永弘 進	一郎					
到達目	標							
・選択し ・4年次月	たテーマに	積極的に取り	り組み、問題点の発見とその解決を繰り 研究の進捗状況と今後の計画を発表で)返し行い、科学する姿 キス	受勢を身につける	5.		
ルーブ			17100進沙水ルC 7夜03日画で先衣 C	C.0.				
ルーン	<u> </u>		型想的な到達レベルの目安 理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル	未到達レベルの目安			
			信頼できる様々な情報源から、こ	除牛門な野産レージ	<u>орцу</u>	不到是D: VD05日文		
これまでに明らかにされている知 見の活用			もまるのでもにまれたの日本語時	信頼できる複数の情れまでに明らかにな 調査に関連付けて活	った知見を、	これまでに明らかになった知見を 部分的にしか示せていない。		
研究方法と分析の視点			複数の研究方法や分析の視点から 、目的とテーマにふさわしいいく つかの研究方法を用い、明確な分 析の視点を示している。	複数の研究方法や分析の視点から 、目的とテーマにふさわしい研究 方法を用い、分析の視点を示して いる。		必要な分析の視点が示されていな い。		
分析			焦点に沿って調査・研究した内容 を組織的にまとめ、類似点・相違 点・重要な型 (パターン化) の発 見など、様々な観点から検討して いる。	調査・研究した内容 とめ、類似点・相遺 化様々な観点から検	点・パターン	調査・研究で得られた情報を検討していない。		
	 到達目標 ^I	百日との問		1		1		
字習・教 JABEE C JABEE C JABEE E 学士区分	(育到達度目) 21 日本語 に 22 国際的に	標 4 エネル より、記述 通用するコ	学、電気工学、材料工学の分野にわたる 術や融合・複合システムの設計・分析 ギー技術と工学の視点に立った論理的が ギー技術と工学の社会的な役割を理解し ・発表・討論する能力 ・ユニケーション基礎能力 レい工業技術を学習する能力	ン、技術的課題を解決	できる能力を身	に付ける		
教育方法	法等							
概要		各専門が 点を発見 学的工	評別分野を指導する担当教員のもと、各自がテーマを選択し、専門の研究を行う。また、個々のテーマにおける問 発見し、それを解決する方法を指導教員とのディスカッション(対話)の中で見い出しながら、科学する姿勢(日工学的方法論および技術や知恵、表現方法)を習得する。					
授業の進	め方・方法	。 予習: 〕 ながら、	こ関連する基礎知識の講義、各自による テーマに関連する基礎知識の講義、各自 実施・検討項目を決定する。 則定、評価、調査より得られた結果を考	による調査をふまえ、	研究について現	見状を把握し、計画と照らし合わせ		
注意点		ること。		スカッションの内容に	全てノートに記	R録し、5年次の卒業研究へ発展させ		
	属性・履信			T		T		
□ アクラ	ティブラーニ	ニング	□ ICT 利用 □ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による指			
155307 = 1 -								
授業計	曲	I.m	I result. Leeb	1.	-N. 1			
		週	授業内容		ごとの到達目標	フ粉ヵの車免について、ウンの声型 フ粉ヵの車		
		1週	研究室配属のための情報収集		ナか送わつてい 哉を駆使して、	る数々の事象について、自らの専門 情報を収集することができる。		
		2週	研究室配属のための情報収集	I.	 学が関わってい	る数々の事象について、自らの専門 情報を収集することができる。		
		3週	研究室配属のための情報収集			る数々の事象について、自らの専門 情報を収集することができる。		
	1stQ	4週	研究室配属のための情報収集		められた情報を できる。	もとに、状況を的確に分析すること		
前期	ISIQ	5週	指導教員決定・研究室配属		集められた情報をもとに、状況を的確に分析する ができる。			
		6週	研究テーマの相談・調査	رح	与えられた目標を達成するための解決方法を考えることができる。			
			1	Lause	状況分析の結果、問題(課題)を明確化することができる。			
		7週	研究テーマの決定		5.			
		7週	研究テーマの決定 研究テーマに関する基礎項目の学習	き エ: 知	る。 学が関わってい 哉を駆使して、	る数々の事象について、自らの専門 情報を収集することができる。		
				工 知 工 知	る。 学が関わってい 哉を駆使して、 学が関わってい 哉を駆使して、	る数々の事象について、自らの専門 情報を収集することができる。 る数々の事象について、自らの専門 情報を収集することができる。		
	2ndQ	8週	研究テーマに関する基礎項目の学習	工 知 工 知 工 知 知	る。 学が関わってい 哉を駆使して、 学が関わってい 哉を駆使して、 学が関わってい 哉を駆使して、 学が関わってい 哉を駆使して、	る数々の事象について、自らの専門 情報を収集することができる。 る数々の事象について、自らの専門		

		12)	.2週 オープンキャンパン			スでの研究室展示の計画立案	各種の発想法、計画立案手法 理的にプロジェクトを進める	まを用い、より ることができる		
		13	周	オー	プンキャンパ	スでの研究室展示の準備	各種の発想法、計画立案手法 理的にプロジェクトを進める	まを用い、より		
		14)	周	オー	プンキャンパ	スでの研究室展示の実施	各種の発想法、計画立案手流 理的にプロジェクトを進める	まを用い、より)効率的、合	
		15週		研究	テーマに関す	る基礎項目の学習	工学が関わっている数々の引 知識を駆使して、情報を収集	事象について、 集することがで	自らの専門 ごきる。	
		16	周	研究	テーマに関す	る基礎項目の学習	工学が関わっている数々の引 知識を駆使して、情報を収集	事象について、	自らの専門	
		1週		高専須	祭での専門展	示の計画立案	各種の発想法、計画立案手法 理的にプロジェクトを進める			
		2逅		高専	祭での専門展	示の計画立案	各種の発想法、計画立案手流 理的にプロジェクトを進める	まを用い、より)効率的、合	
		3逓		高専須	祭での専門展	示の準備	各種の発想法、計画立案手法を用い、より効率的、合理的にプロジェクトを進めることができる。			
		4逓		高専須	祭での専門展	示の実施	各種の発想法、計画立案手流 理的にプロジェクトを進める	まを用い、より)効率的、合	
	3rdQ	5週		研究	テーマの分析		集められた情報をもとに、状ができる。			
		6週	[研究	テーマに関す	る課題・目標設定	与えられた目標を達成するだ とができる。	与えられた目標を達成するための解決方法を考えることができる。 状況分析の結果、問題(課題)を明確化することがで		
		7週	[研究	テーマプロジ	エクトの実施	各種の発想法、計画立案手法	さる。 各種の発想法、計画立案手法を用い、より効率的、合 理的にプロジェクトを進めることができる。		
		8週		研究	テーマプロジ	エクトの実施	各種の発想法、計画立案手法	各種の発想法、計画立案手法を用い、より効率的、合		
後期		9週	[研究テーマプロシ		エクトの実施	理的にプロジェクトを進めることができる。 各種の発想法、計画立案手法を用い、より効率的、合 理的にプロジェクトを進めることができる。			
	4thQ	10	周	研究	テーマプロジ	エクトの実施	各種の発想法、計画立案手法を用い、より効率的、合 理的にプロジェクトを進めることができる。			
		113	周	研究	究テーマプロジェクトの実施			まを用い、より)効率的、合	
		12)	周	研究	タニーフプロジェクトの宇族 各		各種の発想法、計画立案手法 理的にプロジェクトを進める	まを用い、より)効率的、合	
		13	周	研究	テーマプロジ	エクトの実施	各種の発想法、計画立案手法 理的にプロジェクトを進める	まを用い、より)効率的、合	
		14)	周	研究	テーマプロジェクトのまとめ プロジェクトの成果につい ジェクトの達成度を分析す		て自己評価を行	」 すない、プロ		
		15)	周	研究	究テーマプロジェクトの発表		プロジェクトの成果について クトで達成したこと、そのコ ることができる。	て発表を行ない	\、プロジェ	
	16		16週 研究:		究テーマに関する次年度の計画立案 際、効率的、合理的		各種の発想法や計画立案手法際、効率的、合理的にプロジョンとを知っている。			
モデルコ	アカリニ	Fユ [:]	ラムの)学習	内容と到達	目標		_		
分類			分野		学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週	
						日本語と特定の外国語の文章を読		3		
						他者とコミュニケーションをとる 正しい文章を記述できる。	ために日本語や特定の外国語で	3		
						他者が話す日本語や特定の外国語	3			
						日本語や特定の外国語で、会話の				
						ることができる。	ļ			
						円滑なコミュニケーションのため	3			
						円滑なコミュニケーションのため づち、繰り返し、ボディーランゲ	3			
						他者の意見を聞き合意形成するこ	3			
			汎用的技能	合意形成のために会話を成立させ		3				
				グループワーク、ワークショップ 践できる。		3				
分野横断的 能力	汎用的抗	支能		技能	汎用的技能	書籍、インターネット、アンケー収集することができる。	3			
						収集した情報の取捨選択・整理・報を選択できる。	3			
						収集した情報源や引用元などの信息 あることを知っている。	3			
					情報発信にあたっては、発信する 自己責任が発生することを知って	3				
						情報発信にあたっては、個人情報とあることを知っている。	3			
						目的や対象者に応じて適切なツー	_			

目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。

3

3

あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる

複数の情報を整理・構造化できる。

特性では、大型の (1987) では、		1			1	
#12がなられいことを知っている。				特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析の ために効果的な図や表を用いることができる。	3	
(会替的な思考)がとしてプレイストーミング中化水。 POM 時 3 の発感、 計画に変すとど音のであると描しておいます。				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	
#四次部間やレベルで解決策を担塞できる。 3				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・ 合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等 の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	3	
野菜をもたに演習で考定を原理できる。 3						
(株命)への過程の治理性を言葉、又草、関表などを用いて表現できる。 周囲の体別と自身の立場に関与し、必要な行動をとることができる。 自らの考えて責任を持ってものごとに取り組むことができる。 3 日間の実現に向りて自ちを建して行動できる。 3 日間の実現に向りて自ちを建して行動できる。 3 日常の全国における時間管理、爆球管理、金銭管理などができる。 3 け会の一員として、自らの行動、発品、必動を認組して行動できる。 3 ・				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	
別問の状況と自身の立場に知らし、必要な行動をとることができる。				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
期面の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。					3	
自らの歩えて青紅を持ってものごとに取り組むごとができる。 3 日標の実現に向けて自らを律して行動できる。 3 日標の実現に向けて自らを律して行動できる。 3 日標の実現に向けて自らを律して行動できる。 3 日標の実現に向けて自らを律して行動できる。 4 社会の一員として、自らの行動、発言、総数管理などができる。 5 土みで協議・共同することの高異、効果を認識して行動できる。 6 土みで協議・共同することの高異、効果を認識して行動できる。 9 土みで観点・共同することの高異・効果を認識している。 3 ナームで協議・共同することの高異・効果を認識している。 3 ナームで協議・共同することの高異を持ちてよってもことができる。 3 リーターがとるへき行動で創むをわけることができる。 3 リーターがとるへき行動で創むをわけることができる。 3 リーターがとるへき行動で創むをわけることができる。 3 リーターがとからき行動で創むをかけるといかには情報な性やデーム内 3 社会の対象が必要をなったとかできる。 3 リーターがとなった行動がとれる。 4 機局のおかれているが大圧を施した日動かとれる。 4 機局のおかれているが大圧を施した日動かとれる。 4 機局のおかれているが大圧を施して行動をとれる。 5 機局の中枢のありたいを行動がとれる。 5 機局の中枢のありないを行事が多くではることができる。 6 世界の中枢のかりないを行事が多くではることができる。 6 世界の中枢では、10 世界の中枢を10 世界の中枢では、10 世界の中枢では、10 世界の中枢では、10 世界の中枢では、10 世界の中枢では、10 世界の地域を				周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができ	3	
目標の実現に向いて自らを使して作動できる。 3				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	3	
日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる 3 社会の一員として、自らの行動、発高、役割を認識して行動できる。				目標の実現に向けて計画ができる。	3	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	
5.				日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##					3	
諸の最早を育事するためのコミュニケーションをとることができる。				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##				ర ം	3	
リーダーがとるべき行動や逸却をあげることができる。 3 適切な方向性に沿った協調行動を使すことができる。 3 リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内 7 でが相談が必要であることを知っている。 3 世番のおかれている状況に配慮した行動がとれる。 3 世番のおかれている状況に配慮した行動がとれる。 3 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	
適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。 リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内 3				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	
リーダーシップ 本発揮するにせせる)ためには情報収集やチーム内 3 法令やルールを遵守した行動をとれる。 3 法令・ルールを遵守した行動をとれる。 3 法令・ルールを遵守した行動をとれる。 3 技術が社会で自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に 3 自身の情来のあたい変(キャリアデザイン)を明確化できる。 3 その時々で自らの現状を認識し、現事のありたい変(キャリアデザイン)を明確化できる。 3 その時々で自らの現状を認識し、現事のありたい変(キャリアで)でつる。 3 まっしいる。 4 まっしいる。 3 まっしいる。 3 まっしいる。 4 まっしいる。 5 まっしいる。 5 まっしいる。 5 まっしいる。 6 まっとを参加的に判断できるととを認識している。 6 本業とよりする場所者・研究者等の支持を認識している。 3 企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げ 3 などがと認識している。 4 企業に対ける技術者・研究者等の支持を認識している。 3 企業に対ける技術者・研究者等の支持を認識している。 3 企業に対ける技術者・研究者等の支持を認識している。 3 企業に対ける機械者・研究者等の支持を認識している。 3 企業に対ける機械者・研究者等の支持を認識している。 3 企業に対ける機械者・研究者等の支持を認識している。 3 企業に対ける機械者・研究者等の支持を認識している。 3 企業に対ける機械者・対している主を認識している。 3 企業が関内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動している。 3 企業が関内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動している。 3 企業が関内外の他社(他者)とどのような関係性の中で活動している。 4 全人を認識している。 4 全人を認識している。 4 全人を問題解決力、社会貢献などが必要を定さる。 5 技術者が知事や時代・デジスとどが求められていることを認識している。 5 技術者が知事や時代・デジスとどが求められていることを認識している。 5 表別を可能を対するとを認識できる。 5 表別を可能を対すると認識できる。 6 専門学がに専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 3 高専で学んに専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 3 高専で学んに専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 3 高専で学んに専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 3 たんとして活躍するために自身に必要な能力を考えることがで 3 きる。 コミュニケーション能かや主体性等の「社会人として偏変ってきる。 コミュニケーション能かや主体性等の「社会人として偏変るべき 5 まっとしているを認識できる。 3 コミューク・ラン能かや主体性等の「社会人として偏なるべき 5 まっとしているが表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表						
での相談が必要であることを知っている 3					3	
他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	
接術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に 3 自身の将来のありたい姿に中ツアザイン)を明確化できる。 3 その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿にかかってい 3 大心のに現状で必要な学習や活動を考えることができる。 4 キャリアの実現に向かって下 3 本・リアの実現に向かって下 3 本・リアの実現に向かって下 4 様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかだ(一人で悩まない、優先すべ 3 きことを多面的にかときを対処のありかだ(一人で悩まない、優先すべ 3 きことを多面的にかときを対処のありかだ(一人で悩まない、優先すべ 3 きことを多面的にかときを対している。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどの 3 企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。 2 企業における接術者・研究者等の実務を認識している。 2 企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己 3 企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己 3 企業には社会的責任があることを認識している。 3 企業には社会的責任があることを認識している。 3 企業には社会的責任があることを認識している。 3 企業には社会的責任があることを認識している。 4 企業には社会的責任があることを認識している。 4 企業には社会的責任があることを認識している。 3 企業には社会的責任があることを認識している。 4 企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。 4 企業活動には品質、コスト、効率、納明などの視点が重要である 3 社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。 社会人も継続的に成長していくことが求められているごとを認識している。 社会人も継続的に成長していくことが求められているごとを認識している。 2 社会人も継続的に成長していくことが求められているごとを認識している。 2 社会人を選集している。 2 法が審が対策をとして、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要 3 技術者が退車を対することができる。 2 法が専門分野・・般科目の知識が、企業等でどのように 3 高専で学んだ専門分野・・般科目の知識が、企業等でどのように 3 高専の学んだ専門分野・・般科目の知識が、企業等でどのように 3 高専の学んだ専門分野・・般科目の知識が、企業等でどのように 3 高専の学んだ専門分野・・般科目の知識が、企業等でどのように 3 高専の学んだ専門分野・・のが表もなどのできないませいないましないませいないませいないませいないませいないませいないませいな				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	
関う ている責任を挙げることができる。 3				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	
歴度・志向 世					3	
振度・志向性(人間力) 性				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	
振度・志向性(人間力) 性				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かってい くために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	
難に直面したときの対処のありかた(アー人で悩まない、優先すべきごとを多面的に判断できるなど)を認識している。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されるかを説明できる。 企業における技術者・研究者等の実務を認識している。 3 企業したりての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。 企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。 3 企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているが説明できる。 適査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。 企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。 社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。 技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。 「技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。 企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。 企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	能库 士力			キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認	3	
ように活用・応用されるかを説明できる。	態度・志问性(人間力)	性	性	難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべ	3	
企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどの ように活用・応用されるかを説明できる。	3	
ることができる。					3	
企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己 の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。					3	
企業には社会的責任があることを認識している。				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己	3	
企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。 調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。 企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。 社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。 技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。 技術者が加恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。 コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として偏えるべき コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として偏えるべき コニュニケーション能力や主体性等の「社会人として偏えるべき コニュニケーション能力や主体性等の「社会人として偏えるべき コニューケーション能力や主体性等の「社会人として偏えるべき コード ロー・					3	
調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界 の抱える課題を説明できる。 企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要である ことを認識している。 社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。 技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要 3 とされることを認識している。 技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。 コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 2 コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 2				企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動してい	3	
ことを認識している。				調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界	3	
社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識 3 技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要 3 技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動 3 を行った事例を挙げることができる。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 活用・応用されているかを認識できる。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 活用・応用されているかを認識できる。 3 コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 3 コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 2 コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要である	3	
技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要 3				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識	3	
技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動 を行った事例を挙げることができる。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 活用・応用されているかを認識できる。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 活用・応用されているかを認識できる。 企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることがで きる。 コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき っ				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要	3	
高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 3 活用・応用されているかを認識できる。 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 3 活用・応用されているかを認識できる。 企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることがで きる。 コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 2				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動	3	
高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 3 活用・応用されているかを認識できる。 企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることがで 3 コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 2				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように	3	
きる。				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように	3	
					3	
					3	

				工学	的な課題を論理的・合理的な	方法で明確化できる。	3	
				公衆から	の健康、安全、文化、社会、 ³ 課題解決のために配慮すべき。	3		
	総合的な学	総合的な学	 総合的な学		に適合したシステム、構成要 できる。	素、工程等の設計に取り組むる	3	
	習経験と創造的思考力	習経験と創造的思考力	習経験と創	課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。			3	
					する設計解が要求を満たすもの ことを把握している。	のであるか評価しなければなり	3	
				経済 続可	的、環境的、社会的、倫理的、 能性等に配慮して解決策を提	、健康と安全、製造可能性、 案できる。	3	
評価割合								
		発表			レジュメ	相互評価	合計	
総合評価割合	<u> </u>	50			30	20	100	
基礎的能力		15	15		5	5	25	
専門的能力		30	30		20	10	60	
分野横断的能力 5			5	5	15			